

2) 議事録

令和元年度 祐天寺駅周辺地区整備方針素案に関する説明会 会議記録

日時：令和2年1月9日（木）19:00～20:30

場所：上目黒住区センター1階 ミーティングルーム

参加者：23名

目黒区（事務局）3名、コンサルタント3名

- 次第：1. 開会
2. あいさつ
3. 祐天寺駅周辺地区整備方針素案について
4. 意見交換
5. 閉会

1. 開会
2. あいさつ
都市整備課長より、祐天寺駅周辺地区整備方針素案策定の経緯などについて説明をした。
3. 祐天寺駅周辺地区整備方針素案について
都市整備課長より、配布の整備方針素案の冊子を基に概要について説明を行った。
4. 意見交換
素案に対して、9名の参加者から意見や質問等が計15件あった。

<意見交換の主な内容>

○ 整備の方針3について、現在、高齢者が使う椅子型の小さなショッピングカートがあり、これから高齢社会が進む上で、さらに発展して街の中に高齢者が一人で外出できる街づくりを考える必要があると思うが、そのような交通の捉え方はどのようにお考えか。

⇒（回答）目黒区には交通バリアフリー推進基本構想があるが、策定後時間が経過している。現在、目黒区では長期計画を改定中であり、これに続いて都市計画マスタープランや交通バリアフリー推進基本構想などの様々な基本的なハード計画を改定していく予定である。交通バリアフリー推進基本構想を策定した時は、ご指摘のような小型のショッピングカートのようなものはなかった時代かと思う。今回は整備方針のため、詳細な記載はしていないが、整備計画において、いつ何をやるか定めるときには、ご指摘のようなことも視野に入れながら、取り組んで行く必要があると考えている。特に祐天寺は坂が多く、高齢化がやや進んでいることも認識しており、重要だと考えている。

p.12 のアクションプラン6の最初の施策に交通バリアフリーの推進という項目もある。今後整備計画も含めて、具体化に向けて取り組んでいきたいと考えている。

○ 駅前通りの無電柱化を進めるとあるが、ある程度スケジュールは見通しが立っているのか。

⇒（回答）現在、新しい無電柱化計画を策定しているところであり、東京都も強力に進めているため、出来るだけ取り組んでいきたい。ただ非常に費用と時間がかかる事業であるため、まとめてできる状況ではない。祐天寺駅通りは、歩道が無く歩行者が大型車とすれ違う際に危険なため、事務局としては、優先的に進めたいと庁内で調整している。まだ、いつとは回答が難しい。

○ 目黒区の都市計画マスタープランが平成16年に策定されていて、祐天寺駅周辺地区整備構想がその15年後に策定された。アクションプランであれば、もう少し具体性があると良い。今後、また15年たってしまったら時代が変わる。それを踏まえて無電柱化について。無電柱化は大通りだけでなく、まち全体で取り組んでほしい。従来、電柱を表通りからは無くして裏の細い道の方に電柱を移す方法もあるが、地下埋設の無電柱化をお願いしたい。

○ また、そもそも目黒区の他の地区でどのような取り組みで、祐天寺はこのような方針を策定しているのか、全体像を知りたい。

⇒（回答）区の長期的な計画を現在改定中であり、その後、都市計画マスタープランなどの改定を進めていく予定である。また、区の主な駅周辺の整備計画というのが東横線では、中目黒、学芸大学、都立大学、自由が丘で策定されており、祐天寺だけない状況である。具体的な内容については、次年度の整備計画で検討していきたい。1年程で出来る取り組みもあれば、駅前広場など数年間かかるものもある。

無電柱化の取り組みも、今後計画を改定する。その中で優先整備路線、チャレンジ路線を位置づける。区の一般財源だけでは出来ないで、東京都から補助金を活用しながら順次進める。目黒区の中で無電柱化が出来ているのは数路線である。都立大学駅前や祐天寺の駅前広場は無電柱化している。無電柱化の方法だが、区としては本質を改善するような方法で進めていきたいと考えている。

○ 具体的に今年中に実施できる事業から進めていくのはどうか。駅前広場の検討など意見を聞くことから始められないか。駅前広場に関するアンケートでも駅ビルから雨に濡れないバス停などが出ていたが、難しいとは思いますが、事業としては東急の協力が必要である。例えば、駅ビル一階のテナントについて、交番を中に入れてもらうことや、テナントを少しセットバックしてバス停を広げるなど。また、現在の公衆トイレのスペースを有効活用するなどできないか。

⇒（回答）区としては来年度整備計画を策定していく。駅前広場に関しては、測量について予算要求をしている。その次の活用については、検討組織などにより検討していきたいと区としては考えている。

東急電鉄の協力に関しては、懇談会にも東急バス、東急電鉄が入っているが、個別にも相談している。

○ 来年度、測量の予算を取る準備をされているということだが、駅前広場だけでなく、本通りまで実施してはどうか。

⇒（回答）費用面やスケジュールの関係から、まず出来るところからやりたいと考えている。駅前広場の整備について少しでも早く実施できるよう進めている。

ただし、ご指摘のとおり課題は駅前広場だけではなく、地域全体を課題として認識している。

○ 駅前広場での駐車場の取り締まりはどこが管轄なのか。年寄りが怪我するような街にはしたくないと思うので、歩行者優先で整備をして欲しい。例えばバリアフリーで電柱を無くすと言うが、電柱が無くなると車椅子の方は困る。電柱があると、車椅子の方が陰に避難出来る。簡単にバリアフリーや無電柱化とはいかないのではないか。

⇒ (回答) 祐天寺駅通りは、場所によって違うが、幅員が7mであるため、歩道が両側付けられない。商店街なので片方だけ歩道を付けるわけにいかない。歩道の幅員も車椅子で通れる幅は決まっており、車道の幅員も必要なので簡単に解決できる形ではない。ご指摘のとおり、無電柱化したら隠れる場所がなくなるなどの問題もある。どのような形が望ましいかを具体的に一つ一つ検討していく必要がある。

駅前広場は本来なら警察だが、いつも監視しているわけにはいかない。交番がなくなったから助長されているのではないかというご意見もある。抑止効果は何が決め手なのかと研究していかなければいけない。

○ 学芸大学駅は自転車も自動車も時間規制がある。それはできないのか。

⇒ (回答) 方針素案にも交通規制の検討を記載している。例えば一方通行など。これも警察との協議を進めつつ何が一番良い方法なのか探っていく必要があるかと考えている。

○ アクションプランがたくさんあるが、交番やトイレの問題は早急に取りかかって欲しい。今まであった所から無くなっているのだから。精査をして、今年中にでも結論が出そうな事はすぐに取り組んでほしい。

⇒ (回答) 整備方針の中では、整備優先度を設定しており、その中でも安全な歩行環境の確保や災害対応は優先度一番としている。

交番に関しては、高架下に移ってパトカーの置場が出来たという側面もある。警察と東急電鉄とで協議をして、様々な検討を経てそういう結論になったと聞いている。公衆トイレも非常に利用されているので無くせないという状況もある。お伝えできることはお話していく。交番については、場所を案内するようなサインを設置するなど出来るかと考えている。やれる事から取り組んでいきたい。

○ エリアマネジメントは、この街に関わっている人達が、深くなるべく多く関わった方がいいと思う。素案に空家の活用とあるが、土地を所有している祐天寺さんはこの計画にどのように関わっているのか。東急電鉄と祐天寺は街を考えていく上では非常に大きな関係者であり必ず参加してもらうべきではないか。

⇒ (回答) 祐天寺や東急電鉄は、街づくり懇談会のメンバーに入っている。皆さんのご意見は確実に伝える。

○ 整備構想の目標1の方向性1で商店街の活性化、方向性2として暮らしやすい住環境の維持・創出とあるが、この2つを同時進行しようとする非常に難しい。区と

してはどちらに重点をおいて考えているのか。

⇒(回答) 祐天寺に関しては、商業地と静かな住環境と絶妙なバランスを持って駅周辺の地域に配置されていると考えている。古い歴史や静かな住環境とか個性的な新しい要素が共存している街だと考えているので、そこは重視していきたい。素案の p.7 と p.11 に商店街の活性化と住環境の維持創出のエリアを示しているが、重複しない、矛盾しないエリアを示している。どちらも重要なので進めていきたい。

○ アクションプラン1に、すぐに取り掛かれそうなメニューがあるように思う。アクションプラン1に関することは費用がそんなにかからないで始められるのではないかな。若い人が集まる可能性がある。何か試すことは大事だと思う。10年先や20年先の話ばかりでなく、来年より具体的に進めるなどできないか。

⇒(回答) SNS を使って若い方が意見を交流しながら作っていくこともあるのかと思う。区が主導することと、自然にわき上がってくることがあると思う。もしそのようなご相談があった場合、決してその芽をつぶすことなく支援していきたいと思う。

○ アクションプラン3について、この計画の中で何に対する防災なのか減災なのかご説明頂きたい。

○ また、Wi-Fi や公衆無線 LAN の整備について、具体的に考えているのか。また、現状で祐天寺に関して区として SNS を通じて発信しているのか。または、住民まかせか。

⇒(回答) 防災・減災について、この地域は災害に脆弱な地域では比較的不いと捉えている。ただし、緑道や支流があるので、決して水害の可能性がないわけではない。区内には本地域より優先順位の高い地域はある。ただ整備方針に記載しているように、地域の避難所や防災の活動など、これだけ災害が多くなると区の職員だけでは難しいので、どこの地域でも話し合っていく必要があると考えている。

Wi-Fi は、現状目黒区では、限られた地域でしか整備されていない。現在、フリーWi-Fi、公衆無線 LAN については計画を区で策定しているので、整備方針にも記載している。祐天寺が最優先ではないが、今後検討していくために方針として記載している。

SNS は、区が仕掛ける部分と民間が仕掛ける部分など、様々な方向性をつなげていきたい。

○ 建築基準法とまちづくりとの整合性はどのようにとるのか。優先度はどちらか。

⇒(回答) 建築基準法は、個別の建物の建替等に関する法規になる。まちづくりでは、例えば、地区計画や地域のルールを作って、それに合わせて建替をしていくなどがある。建築基準法は法律なので犯すことはできない。その上に、地区計画など地域独自のルールを上載せする。例えば栄通り商店街では街づくりルールを作って壁面の部分や、1階部分の用途などを決めている。そうすると街が全体に変わっていく。

以 上